

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	プレリキサホルを用いて自家末梢血幹細胞採取を行った多発性骨髄腫症例の後方視的検討
研究責任者	血液内科 副部長 塚田信弘
研究機関名	日本赤十字社医療センター 血液内科
研究目的と意義	<p>自家末梢血幹細胞移植を行うためにはあらかじめご自身の幹細胞(造血の源になる細胞)を採取し、凍結保存しておく必要があります。しかし一部の患者さんでは、自家末梢血幹細胞の採取が困難なことがあり、この問題を克服する薬剤としてプレリキサホル(モゾビル®)が2017年2月に処方可能となりました。当院は全国でも有数の自家末梢血幹細胞移植実施施設であり、プレリキサホルを用いた自家末梢血幹細胞採取も積極的に行っています。</p> <p>今回我々は、この薬剤の使い方や有用性を全国の施設にも知っていただくために、当院での自家末梢血幹細胞採取および移植の実施状況を解析して報告する研究を計画しました。</p>
研究方法	<p>対象:2017年2月～2019年12月に自家末梢血幹細胞採取を行われた多発性骨髄腫の患者さん93名を対象としています。この中にはプレリキサホルを用いて採取を行われた76例の患者さんが含まれます。</p> <p>研究の方法:診療録をもとに、患者さんの背景、採取された幹細胞の数、末梢血の幹細胞の数、採取の日数などを解析します。</p> <p>倫理的配慮:個人情報保護には十分な配慮を行った上で解析を行います。上記対象に該当すると思われる患者さんで、本研究への登録を希望されない方は下記までご連絡下さい。登録を希望されない場合でも不利益を被ることはありません。</p>
問い合わせ先	<p>日本赤十字社医療センター 血液内科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者:塚田 信弘 TEL : 03-3400-1311 FAX : 03-3409-1604</p>